

夏休み 理科 自由研究の手引き

その1 研究の種類

佐渡市立理科教育センター

1 はじめに

楽しい夏休みがもう少しでやってきますね。夏休みは、自由な時間がたっぷりあります。理科が好きな人も、ちょっと苦手だという人も、自分がふしぎだと思うことについての研究、作ってみたい科学作品、生活に役立つものの開発など、何かひとつ決めて、取り組んでみませんか。そして、9月におこなわれる「科学祭り」や10月におこなわれる「科学研究発表会」への参加をめざしてみませんか。この「手引き」を、おうちの方と一緒に読んで、ぜひ、チャレンジしてみましよう。



2 自由研究の種類（発表方法別）

研究発表会



科学作品展（標本）



科学作品展（模型など）



おもちゃコンテスト



(1) 研究発表会

- ・自分で見つけた「はてな」や「疑問」を自由に研究します。
- ・実験や観察などを行い、分かった内容をまとめて発表します。
- ・毎年、10月上旬に発表会を行う。推薦された研究は、いきいきわくわく科学賞（県・大会）に参加します。
- ・どんな研究をするのかは、「手引き その2」をご覧ください。

(2) 科学作品展

- ・ 標本（植物、こん虫、貝、岩石、化石など）をつくります。
- ・ 科学作品（科学模型、発明工夫、科学写真など）をつくります。
- ・ 毎年、9月中旬にある「子どものための科学祭り」で展示します。推薦があった作品は、標本展・模型展・発明工夫展（県大会）に参加します。
- ・ 標本は、植物、こん虫、貝、岩石、骨格、化石などです。その他に、たたきぞめなど学校で学習した内容を標本にしてもよいです。
- ・ 科学作品は、科学模型・発明工夫・リサイクル作品、科学写真などです。その他に、結晶や炭づくり、コンピュータソフトや科学ビデオなど興味を生かした作品でもよいです。
- ・ 標本の作り方は、「手引き その3」を、作品の作り方は「手引き その4」を見てください。

(3) おもちゃコンテスト

- ・ 電池や磁石、ゴム、ひもなどの材料を使って、走る（歩く）、回る、光る、鳴るなど、おもしろい動きをする手作りおもちゃをつくります。
- ・ 毎年、9月中旬にある「子どものための科学祭り」の「おもちゃコンテスト」で自作のおもちゃを紹介しあい、発想の豊かさや動きの工夫、作品のユニークさなどを審査します。
- ・ おもちゃの作り方は「手引き その4」を参考にしてください。

※ 科学作品やおもちゃコンテスト作品の様子

